

学校名 鴻巣市立赤見台第二小学校



< 人を思いやり、気づき考え実行する児童の育成 >

団体・学校の特徴	本校は、昭和62年（1987年）に開校し、今年で36年目を迎えた、鴻巣市内では比較的新しい学校である。また、市内初の「発達障がい・情緒障がい通級指導教室」（ウイング）を開設し、個々の児童の実態に合わせた指導を行うとともに、発達障がいについての相談機関として、本校のみならず地域の特別支援教育発展の一役を担っている学校でもある。				
所在地（市町村名）	鴻巣市	児童生徒数	290名	活動期間	1年
活動内容	JRC 委員会の充実と各学年の体験活動				

特徴的な活動

- JRC 登録式（令和3年5月26日リモート）
〈ねらい〉青少年赤十字の一員として、誓いを新たにし、JRC 活動についての理解を深め、会員としての自覚をもち、「健康安全、奉仕、国際理解・親善」の活動を自ら進んで実践しようとする態度を育てる。
- 1円玉募金（毎月一回 JRC委員会）
〈ねらい〉JRC活動の精神を理解して奉仕活動を行うことにより、人を思いやる心を培い、たくましく実践する心豊かな児童を育てる。
- 着衣泳（令和3年7月14日・15日 プール 指導者：日本赤十字埼玉県支部）
〈ねらい〉衣服を着たまま、水に溺れた時にどのような行動をとればよいか考える。
- 防災学習（令和3年11月4日 図書室 指導者：日本赤十字埼玉県支部）
〈ねらい〉大規模災害に遭遇した場合に児童ができることは何かを考える。
- 出前授業（令和3年11月17日 体育館 指導者：日本赤十字埼玉県支部）
〈ねらい〉新型コロナウイルスを正しく理解し、感染防止のための行動を身に付けさせ、人権意識を高める。



